ISSN　0917－4508

NANZAN UNIVERSITY

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ
～デュナミス～

No.61　2012.4.1

CONTENTS

1 紙の記憶、画面の保存　短期大学部教授：中田 晶子
2 ヒロシマ／ナガサキからフクシマへと思いを馳せる　外国語学部准教授：奥田 博子
4 データベースのご紹介　電子情報係：黒田 陽子
6 大学図書館はひとあじ違う！
2012年度 春学期図書館利用講習会 開催のお知らせ　閲覧・参考係、教育研究支援係
9 図書館研修に参加して　図書館研修生：野々山 彩乃
10 資料紹介　～名古屋の街散歩～　図書選定委員：徳永 静
12 新入生のためのライブラリー案内のお知らせ
南山大学図書館 新入生歓迎企画展のお知らせ
編集後記

紙の記憶、画面の保存

中田 晶子

ほぼ半世紀、紙に書かれた文字を読んで暮らしてきたので、やはり紙の本に愛着がある。最初のお気に入りだった絵本については、絵はもちろんのこと、紙の厚さや肌理、大きな文字の直線や曲線から受けた印象が、単純な語句や文を繰り返し読んでくれた若い母の声の調子や手指の記憶と共に今も残っている。

絵本はまだ紙版が主流であるようだが、今の子供達は、将来私と同じような絵本の記憶を持つだろうか。文字は読めなくても2歳にしてスマート・フォンを自在に操るというデジタル・ネイティヴの子供は、「大昔に絶滅してしまった、今から思えばほとんど何もできなかった『スマホ』と呼ばれた通信機器」に郷愁を抱くことになるのだろうか。その時彼が使っている通信機器は何代目のものになっているだろう。

最近は通勤の地下鉄で電子書籍をキンドルで読んでいることが多いが、独特のしっとりした感じが画面にあって、PCの画面に比べて疲労感が少ない。いつまでこの画面で読むことができるだろうか、と時々思う。数年後には、初期のキンドルに使われていた特殊インクの「湿感」を懐かしがることになるかもしれない。

ニューヨーク公立図書館に英米文学のアーカイヴ、バーグ・コレクション*1)がある。詩人や作家の草稿や書簡等10万点を超える資料が揃っており、研究者や学生であれば比較的簡単な手続きで利用することができる。研究休暇をいただいてニューヨーク市近郊にいた1年間に20回以上通い、数年前にも5日連続で開館から閉館まで利用したが、院生時代から研究対象としている作家の資料に限っても、目を通せたのはごく一部に過ぎない。20世紀初頭の資産家の読書室といった趣のある天井の高い部屋で、古い革張りの椅子に座り、30年前に亡くなった作家の草稿への書き込みや編集者に宛てたメモを読む—判読できない場合には、キュレイターの方達が頭をひねって助けてくださる—文学研究者にとっては地上の天国である（冷房が効きすぎていて真夏に凍えてしまうことを除けば）。

コレクションの資料は増え続けているので、そろそろデジタル資料の保管も始まっているだろうと想像する。原稿ファイルやメールはプリントして保管すればよいようなものだが、それが「オリジナル」といえるのかという問題もあるし、資料の中にはPCの画面で見なければ意味のないものもあるかもしれない。すでに、エモリー大学に収められたサルマン・ラシュディ（1947－）のコレクションには、4台のPCが付いているそうである*2)。あくまでも「オリジナル」の資料にこだわるなら、作家が執筆に使ったソフトとそれを使うための代々のPCが必要ということになるだろう。それらのPCはこの先どれだけ使用に耐えるのだろうか。

読者としては「紙派」であっても、書く場合にはすでに完全な「デジ派」であって、頭と指とキーボードがつながった状態でないと考えをまとめることが難しくなっているし、電子メールやインターネットから日々受けている恩恵は計り知れないのだが、それでも紙と鉛筆があれば事足りた時代のほうがよかったような気もする。

（NAKATA, Akiko：短期大学部教授）

＊1）Berg Collection のウェブページ：http://www.nypl.org/locations/schwarzman/berg-collection-english-and-american-literature
New York Public Library は、映画 *Sex and the City*（2008）でヒロインの結婚式会場となるはずだった図書館。古くから同市の観光スポットのひとつになっている。

＊2）竹内悊，梅澤幸平『図書館のこと、保存のこと』けやき出版，2011, p.18-19.
請求番号：014K/583

ヒロシマ／ナガサキからフクシマへと思いを馳せる

奥田　博子

奥田 博子著
「原爆の記憶：ヒロシマ／ナガサキの思想」
慶応義塾大学出版会、2010年
請求番号：319.8L/924

「大日本帝国」としての敗戦体験は、さまざまな形象（かたち）で＜いまここ＞に遺されている。そのなかでも、昭和20年8月6日8時15分と9日11時02分を体験したヒロシマ／ナガサキの原爆被爆者（後、被爆者とのみ記す）は、同時代人として、2011年3月11日を「戦後」への反省を込めて反芻し始めている。ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマからわたしたちは何を学び、それをどのように身につけてゆくべきなのか。

1945年8月6日8時15分と9日11時02分という決定的瞬間（カイロス）は、神あるいは運命によって定められた瞬間（タイミング）である。なぜなら、この二つの決定的瞬間（カイロス）を境に世界は大きく変わってしまうからである。＜核兵器＝死＞という軍事技術は、その後、「原子力の平和利用（アトムズ・フォー・ピース）」という名のもとに＜原子力＝生＞という新たな技術的な可能性へ読み換えられ、近代産業「文明」の最前線に位置づけられてゆく。原子力／核エネルギーは、物理学に基づく人工的な操作によって創り出される、従来の石炭や石油といった化石燃料とはまったく次元の異なる規模のエネルギーである。

原子核が壊れるときに放射線を出す放射性物質は、他方、生物の存在とは相容れないものである。実際、地球上に生物が誕生するのは放射性物質がほとんどなくなった後のことである。被爆者は、その意味で、世界に初めて放射線が個々の生命体とその世代的な再生産を支える遺伝情報に混乱をもたらすことを実証する「生き証人」なのである。

この生命の未来を脅かす原子力／核エネルギーを人間が技術で制御できるとしていたのが、経済合理性のなかで生産性と効率を追求してきた科学技術「文明」である。社会のシステムが大きく変わってゆくとき、つねに、その変化を自覚し、喪われてゆくものごとを記録し、そして個人的な体験を集合的な経験として遺そうとする試みがなされる。なぜなら、変貌を遂げてゆく社会のなかで絶え間なく剥ぎ取られてゆく過去を呼び覚まし、現在を相対化させ、そして未来に警告する＜声＞を遺して逝こうとする人びとがいるからである。

ヒロシマ／ナガサキの＜声＞は、「さきの大戦」ですでに亡くなっている家族や友人に対する被爆者の想いや負い目が大きな原動力になっていることが多い。ここでの主体の条件は、そのため、“自分が壊した”わけではなく、気がついたときには“すでに喪われていた”にもかかわらず、実際には、“自分が壊した”という応答責任（レスポンシビリティー）ないし贖罪意識を引き受けることが前提とされていることを指摘できる。つまり、形式的には「イエス」も「ノー」も可能である。しかし、実質的には「イエス」という選択肢しか遺されていない。初めから一つしか選択肢がないのであれば選択肢を与えなければよいにもかかわらず、選択肢が与えて見せられているのである。

わたしたちもまた、事後的に、この「強制された選択」を問われている。なぜなら、わたしたち一人ひとりが過去を掘り起こし、現在に引き受け、そして未来へと遺してゆかなければ、＜かつてあそこ＞はそのまま忘れ去られてしまうからである。このように過去が主体的に創新される現在であるとするならば、ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマは、個人的な体験を集合的な経験として歴史化してゆく重要なメディアとしての機能を果たすことになるであろう。

存在というレヴェルには、ある種、根源的な危機のようなものがある。そのため、被爆者の証言や記憶は、時空間を越えて、人類の根源的な危機を媒介に一人ひとりの＜体験＞を＜経験＞として共有する好機に転換することができる。そのとき、非体験者としての立ち位置を意識しながらも、わたしたちは、体験者との共同作業を通してそれぞれの被爆者がもつ＜当事者性＞をどのように継承してゆくことができるかを問いかけられることになる。

なぜなら、喪失と発見はつねに共起するからである。喪われたものとして見出される、あるいは、見出されたときにはすでに喪われていたということが多々ある。一方、「喪われた」ということは、かつて「あった」ということによって、最初から「なかった」という絶望からは免れることができる。つまり、喪われた痕跡は、見出されたものに遺っているはずなのである。被爆者は、このような双方向的（インタラクティヴ）な振れ合いのなかで、「3.11」と称される2011年3月11日を66年前に米国が原子爆弾を投下した決定的瞬間（カイロス）に重ね合わせて反芻しているのである。

ヒロシマ／ナガサキは、＜いまここ＞において、わたしたちに対して＜かつてあそこ＞をあらためて問いかけている。チェコスロヴァキアの小説家ミラン・クンデラが「権力にたいする人間の闘いとは忘却にたいする記憶の闘いにほかならない」と記しているように、権力によって否応なく動かされてゆく社会に翻弄される一個人の武器は忘れないこと、覚えておくこと、そしてその個人的な体験を集団的な経験として後世へと遺してゆくことであろう。ヒロシマ／ナガサキの＜声＞は、フクシマに象徴される原発事故を契機に、その信念の実効性を立証するものであると言えよう。

（OKUDA, Hiroko：外国語学部准教授）

データベースのご紹介

今回は、この春より利用可能となったデータベースを2件ご紹介いたします。
いずれも、学術情報の全文や文献データを検索・閲覧できるデータベース「EBSCOhost」内に追加されていますので、図書館 Web ページ〈http://office.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/〉の「電子ジャーナル・DB」から「名古屋図書館（または瀬戸図書館）」→「EBSCOhost」の順に進み、ご利用ください。

新規 Newspaper Source Plus（EBSCOhost）

Japanese are great connoisseurs of art with over 6,000

By Lars Nicolaysen

The Japanese are famed for their appreciation of art and works by western artists such as Van Gogh or Monet. Now, local artists are becoming the focus of attention but as Japanese painters come to be recognised at home, museums are finding it increasingly difficult to attract visitors in these times of economic uncertainty.

Van Gogh gazes down upon passengers from the ceiling of a Tokyo underground railway station. The poster depicting a self-portrait by the artist is an advertisement for a new exhibition at the National Art Centre in the district of Roppongi. Simultaneously the Mitsui Memorial Museum in Tokyo is showing a collection of Buddha figures from the former capital city of ... artistic wealth of their own country. At the same time competition among museums for visitors is growing just as money is in ever shorter supply.

'Artworks ranging from impressionism to the ecole de Paris are continuing to enjoy great popularity,' says Yusuke Minami, curator of the National Art Centre in Tokyo, describing his compatriots' artistic tastes. The centre recently had a tremendously successful exhibition of works from the Musee d'Orsay in Paris. About 780,000 people streamed through the centre after spending hours waiting patiently in customary Japanese style to get in.

This year the Japanese can choose between several impressionist and post-impressionist exhibitions of paintings ranging from Renoir, which were shown at the art centre, to Manet at the Mitsubishi Museum to Degas who is on show until December in Yokohama. Along with the great popularity of western artists is a growing interest in home-grown talent, according to Minami. Last year an exhibition of Buddhist sculptures from the Ko Fuki Ji temple in Nara that date back to the 1300s took place at the Tokyo National Museum and attracted over 800,000 visitors in just three months. 'Japanese art is being rediscovered and good exhibitions with Japanese art are generally getting large numbers of visitors,' says Minami.

Minami is referring in particular to works dating from the 16th century. 'That's a period that people today are not especially familiar with.

PDF

〈The South Asian Post, October 14－October 20, 2010〉

EBSCOhost では、全文が HTML 形式の場合、
日本語、中国語を初め30の言語に翻訳できます。

USA Today、The Washington Post を初めとする560紙以上の全国紙・海外紙に加え、The Dallas Morning News、The Detroit Free Press など、約500紙の米国地方紙の全文を1900年代から現在まで収録した全文データベースです。

一般紙に加え、1,100校以上の米国内外の大学が発行する新聞や80万件以上に及ぶ CBS News、CNN、CNN International、FOX News、National Public Radio（NPR）などのテレビやラジオのニュース原稿も併せて収録しています。

任意のキーワードによる【キーワード検索】に加え、収録している新聞の名称による【出版物検索】、関連する写真・地図などの画像を検索する【イメージ検索】も可能です。また、英英辞典“The American Heritage（R）Dictionary, 4th Ed.”も付属しており、文中の言葉の意味や用例を調べることもできます。

データベース名	総データ数	収録期間	更新頻度
Newspaper Source Plus	3,250万件以上	1900年～現在	Daily

アップグレード　Academic Search Premier（EBSCOhost）

これまで契約していた、社会、人文、自然科学、医療、デザイン、コンピュータと幅広い分野を網羅する全文データベース“Academic Search Elite”が、“Academic Search Premier”にアップグレードしました。

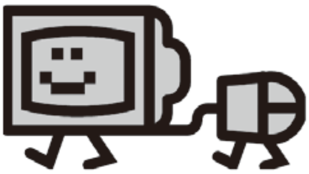
4,600誌以上の雑誌タイトルの全文情報（うち約4,000誌が査読誌）、さらに8,500誌以上（うち7,400誌以上が査読誌）のインデックス・抄録情報も収録しています。総収録データ数はインデックス・抄録情報が約2,000万件、うち、全文情報は800万件以上にのぼり、収録データは毎日更新されています。

データベース名	収録タイトル数（全文）	収録期間（全文）	収録タイトル数（抄録）	収録期間（抄録）
Academic Search Premier	4,600誌以上	1887年～現代	8,500誌以上	1865年～現代
Academic Search Elite	2,100誌以上	1985年～現代	3,700誌以上	1985年～現代

Academic Search Premier の特徴

- Academic Search Elite の収録内容をすべてカバー！
- 重要雑誌100誌以上については1975年前後か初号まで遡って PDF フルテキストを収録！
- フルテキスト収録誌の80%以上が査読誌！
- 収録されている査読誌の90% 以上に著者自身による抄録が付与！
- 収録されている査読誌の85%で電子ジャーナルと同質の PDF を収録！
- 査読誌の多くに著者自身によるキーワードが付加！
- 査読誌1,000誌以上について引用文献・被引用文献のリンク、検索が可能！

同時アクセス数はどちらも無制限で、インターネットに接続できる
環境があれば、いつでも利用できます。
但し、学外から利用する場合は接続方法が異なります。



お知らせ

雑誌・論文情報データベース「MAGAZINEPLUS」が全面リニューアル※しました

（※2011年10月）

■主な改善ポイント

・文献単位の書誌事項のダウンロードが可能
・検索結果から同一巻号の目次表示が可能
・雑誌分類、記事分類などからの検索も可能
・岩田書院「地方史文献年鑑」のデータを追加

（KURODA, Yoko：電子情報係 黒田 陽子）

大学図書館はひとあじ違う！

その1 名古屋図書館の地下を知りつくす

書庫にはこんな資料が…

名古屋図書館は1F、2Fだけではありません。B1F、B2Fの広々としたフロアには専門の研究書以外に特色のある図書や新聞、雑誌などの資料があります。
今回は、1Fをのぞいただけではわからない図書館の穴場スポットを紹介します。

学生証（またはユーザカード）をもっている方なら誰でも書庫に入ることができます。

1書庫入庫ゲート

ミナミさん：書庫の中って少し暗い場所があるんだけど…

書庫の照明はセンサーで自動点灯するから大丈夫。図書館でも省エネに取り組んでいるんだね。

マナブくん

B1F 書庫

主に雑誌があります

2マイクロ室

CD、CD-ROM、DVD、マイクロ資料など図書とは違うモノが集められています。

マナブくん：貸出利用ができる映画のDVDもあるから要チェック！

ミナミさん：私は、CD付の英語のテキストを借りようかな。

3短大コーナー

南山短期大学図書館で所蔵していた図書が並んでいます。OPACで検索して、所在が名古屋 B1書庫短大 短大資料とあればここのこと。

4製本雑誌（雑誌のバックナンバー）

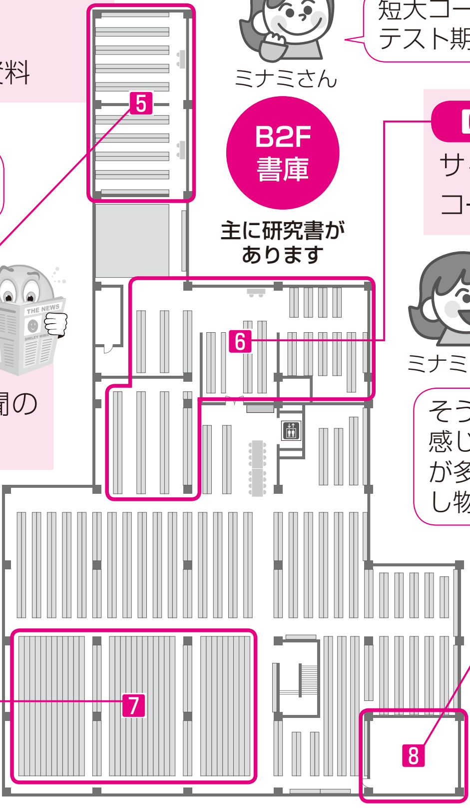
各分野の専門雑誌がずらりと並んでいます。
- USGP（U.S. Government Printing）
  アメリカの政府刊行物
- 各国統計
- 有価証券報告書
- 法判例
- アジア経済研究所資料

ミナミさん：短大コーナー横の個人机ってテスト期間は、穴場かもしれないわ。

マナブくん：かなり前の雑誌も手にとって見られるなんてスゴイなぁ。

B2F 書庫

主に研究書があります



6大型本

サイズの大きな図書はこのコーナーにあります。

ミナミさん：B2Fはとっても広いんですね。

マナブくん：そう、本の倉庫って感じだよね。研究書が多いけど、掘り出し物もあるよ。

5新聞保存庫

縮刷版や原紙が見られます。
データベースにないような海外新聞のバックナンバーが保存されています。

7電動書架

大量の図書を効率よく収納できるように、書架が電動で動くようになっています。
- 歴史、地理
- 法律、経済、教育
- 自然科学など

8貴重室

100年以上前の貴重な資料が、保存されています。
資料の利用希望はカウンターまで。

大学図書館はひとあじ違う！

その2　大学図書館のオイシイ使い方　～楽しんで、得して、学ぼう!! ～

南山大学生のホーム図書館といえば、南山大学図書館ですが、中部大学・愛知学院大学の図書館も、南山大学の図書館のように利用することができる事をご存知ですか。南山大学では利用者サービスの向上を目指して、各図書館と協定を結んでいます。これをCAN私立大学コンソーシアムといいます。それぞれの大学の頭文字を一文字ずつ取り（中部大学のC、愛知学院大学のA、南山大学のN）名づけました。

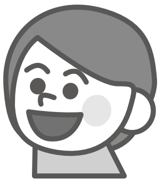
CAN私立大学コンソーシアムのサービスの特徴

■ 相互貸借
- 取り寄せにかかる費用は無料！
- 取り寄せた資料は館外貸出OK ！

ミナミさん

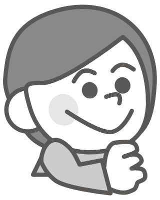
ところでマナブ先輩、
相互貸借って、いったい何ですか？

CANのしおりも配布中！


マナブくん

それはね、南山大学図書館にない図書を他の大学から取り寄せるサービスだよ。通常はお金がかかるし、図書館の中でしか利用できないけど、CANは無料だし、家に持ち帰って読めるからとても便利だね。
申込みは、図書館1階のレファレンス・カウンターでできるよ。

■ 直接利用
- 学生証を持参すれば、直接各図書館の資料を利用できます。
- 各図書館で借りた本は、南山大学図書館で返却することができます。


マナブくん

利用登録すると本を借りることができるよ。
中部大学や愛知学院大学の近くに住んでいる人は利用しない手はないね。学生証を忘れずにね！

借りた本は、南山大学図書館で返却できるんですね。自分の大学で返せるなんて便利！

ミナミさん

※これらのサービスは南山大学ならではのサービスです。ぜひご活用ください。
また、豊田工業大学についても同じサービスが利用できます。

入学してから卒業するまでに、是非たくさん図書館を利用してください。
学生生活を振り返った時に、「図書館」がよい思い出となることを願っています。

大学図書館はひとあじ違う！

その3　マナーも大事！

ある日曜日、マナブくんとミナミさんは図書館で待ち合わせ、夏休みに読む本を探しました。
書庫で探していると、ミナミさんが生まれた年より20年も前に発行された本を見つけました。

ミナミさん▶「わぁ、この本はわたしが生まれる20年も前に発行されたんだ！図書館には、最近の本だけでなく、ずいぶん前に発行されたものもあるんですね。」

マナブくん▶「そうだよ、ぼくたちの親やそのまた親の世代に発行された本もたくさんあるよ。」

ミナミさん▶「そうなんだ。大切に扱わないといけないですね。書き込みや落書きなんて、絶対しちゃだめですね。」

マナブくん▶「図書館にある資料は、みんなの共有財産だから、大切に扱おうね。夏休みはたっぷり時間がとれるから、漱石か太宰の全集に挑戦してみようかな。」

図書館ではお静かに

飲食禁止

携帯電話通話禁止

荷物放置禁止

南山大学図書館は、学生のみなさんや先生方だけでなく、他大学の学生、高校生、地域の人たちも利用できる場として開放しています。マナーを守って利用しましょう。

2012年度　春学期図書館利用講習会　開催のお知らせ

レポートや論文を書く時に、資料探しにつまずいていませんか？利用講習会で、図書館の活用法や資料の集め方を知ると、毎日の学習もグンと効率が上がります。
個人でも、ぜひ気軽にお申込みください。

開催期間　4月12日（木）～7月13日（金）
＊5限以降、および土・日曜日は開催いたしません。

開催内容　■個人・グループ向け講習会（60分）
■ゼミ・授業単位の講習会　（90分）

申 込 先　受講を希望するキャンパスのレファレンス・カウンター（先着順）
名古屋図書館：閲覧・参考係（内線1342　illref@ic.nanzan-u.ac.jp）
瀬戸図書館：教育研究支援係（内線4511　s-lib@nanzan-u.ac.jp）

詳細については、図書館 Web ページ・館内掲示にてお知らせします。

（閲覧・参考係、教育研究支援係）

図書館研修に参加して

野々山　彩乃

私が図書館研修に参加したきっかけは、普段利用させていただいている図書館の裏側を見てみたいと思ったからです。利用者が普段目にする図書館員の仕事といえば、図書の整理やカウンターでの貸し借りの手続きなどと限られています。しかし、図書館の裏側でも実に様々な仕事がなされています。そのうちの一つが、今回私が担当した図書館企画展・広報活動です。

研修の流れを説明します。まず、レファレンスカウンター奥の研修生用ロッカーに荷物を入れて名札を付けます。掲示物は2階の事務室で作成します。一般の利用者がここに入れる機会はまずないでしょう。画用紙や飾りは倉庫にたくさんあり、自由に使うことができます。また、パソコンを使って見出しを作ったり、コピー機でポスターを拡大コピーしたりします。普段何気なく目にする掲示物を作る側になるという貴重な体験ができました。

今までの活動では、図書館の入口近くにある掲示板の作成を二回任されました。一回目は南山大学図書館秋の企画展として「カトリック布教用図版展」を開催したときのものです。中国でキリスト教を布教するときに使われた図版を展示するという面白い企画だったので、より多くの人が訪れていただけるような掲示物を作ることを目指しました。このような資料を所蔵しているのは、南山大学ならではといえるでしょう。

二回目は自由に掲示板を作らせていただけたので、日頃からテーマを探すようにしました。ちょうどその頃にスティーブ・ジョブズの訃報を聞き、南山大学の OPAC で調べたところ、彼に関する本が数多く所蔵されていました。ジョブズのビジネスに対する姿勢や、効果的なプレゼンテーション方法について書かれた本は、学生の関心を引くものであると感じました。そこで、話題の新刊本『スティーブ・ジョブズ Ⅰ・Ⅱ』を含む5冊を新たに購入していただき、それらのカバーを使って彼をイメージした掲示板を作成することにしました。スティーブの写真を掲示物に使うことも考えたのですが、肖像権に違反するとのことで、公共の掲示物を作る際の難しさを感じました。しかし、完成された掲示板を多くの人が足を止めて見ていたり、紹介した本が貸し出されたりしたのはとても嬉しいことでした。

研修に参加したことで、図書館員の仕事をごく一部ですが体験することができました。興味のある方はぜひ参加してみてください。

（NONOYAMA, Ayano：図書館研修生）

資料紹介 ～名古屋の街散歩～

忙しい毎日の中、散歩は気軽なリフレッシュ方法です。気分転換や健康のため、名古屋の歴史や文化を楽しむ散歩に出かけてみませんか？散歩に役立つ名古屋に関する本をご紹介します。

歴史を遺す古き道を歩く　名古屋の街の歴史を知る

■愛知県の歴史散歩　上・下／愛知県高等学校郷土史研究会編
請求番号：BROWG/2009（名古屋　閲覧室1F　ブラウジング）
名古屋散歩モデルコースを掲載。住所・交通機関や地図が多く、実際に歩く際に便利。

■熱田歴史散歩／日下 英之著
請求番号：215K/957（名古屋　閲覧室B1）
数々の伝承が育まれた熱田を歩く。

■名古屋・東海の城下町
請求番号：291K/1160（名古屋　閲覧室B1）
東海の10の城下町に関して、古地図と現在（発行当時）の地図を対比する。

■なごやの古道・街道を歩く／池田 誠一著
請求番号：291K/1317（名古屋　閲覧室B1）
名古屋を通っている古道・街道の中から22本の道を選び、街道ごとに、その道の成立や全体像、そして2～3時間で歩ける区間を紹介。

■尾張名古屋大百科：名古屋開府400年記念誌
請求番号：BROW-L/2010（瀬戸　閲覧室B1　ブラウジング）
知られざる歴史と魅力を発掘できる。
市内の名所・旧跡・観光スポットが1枚にまとまった名古屋お宝MAP付き。

■教材発見：町ウォーキング：商店街から近代化遺産まで／寺本 潔著
請求番号：375.3L/383（瀬戸　閲覧室1F　一般図書）
教材発見にも役立つ町ウォーキングを提唱し、例を挙げながら具体的に紹介する。

お城を見ながら街散歩　名古屋のシンボル、名古屋城の歴史を知る

■名古屋城を記録せよ！：名古屋城百科『金城温古録』の誕生：企画展／名古屋市博物館編集・発行
請求番号：521K/296（名古屋　閲覧室2F）
名古屋城本丸御殿の再建計画において重要な百科事典『金城温古録』。その内容をダイジェストで紹介する。

■名古屋城：尾張を守護する金の鯱
請求番号：521/6（名古屋　B1書庫短大　短大資料）
大坂の陣を控えた徳川家康が、東海道筋の要衝として築き上げげた戦国最後にして最大の軍事要塞だった名古屋城の構成と建築についてくわしく説明。

■よみがえる名古屋城：徹底復元・金鯱を戴く尾張徳川家の巨城
請求番号：521/8（名古屋　B1書庫短大　短大資料）
名古屋城の全貌を、精緻な考証によるCGで完全再現する他、近代の名古屋城についても詳しく紹介。

■名古屋時代MAP／新創社編
請求番号：BROW/2009（名古屋　閲覧室1F　ブラウジング）
名古屋城を中心に、江戸尾張の地図と現代の地図を比較。

名古屋の文化を知り、歩く　名古屋の文化を読み解く

■名古屋今昔写真集
請求番号：(v.1～3)215K/1083/v.1～3（名古屋　閲覧室B1）
(v.2)215L/1083/v.2/A（瀬戸　閲覧室B1　大型資料）
秘蔵の古い写真を集大成。懐かしい風景やくらしを400余点で徹底対比。

■名古屋絵はがき物語：二十世紀のニューメディアは何を伝えたか／井上 善博著
請求番号：215K/1103（名古屋　閲覧室B1）
地元発行の新聞記事を参照しながら、絵葉書に秘められた近代名古屋の姿をたどる。

■なごや十話（とわ）／中日新聞社編著
請求番号：291K/1246（名古屋　閲覧室B1）
名古屋にゆかりのある著名人が心を込めた清新な名古屋論。名古屋の魅力、可能性を再認識。

■知ってトクする！名古屋の事典／牛田 正行著
請求番号：291K/1208（名古屋　閲覧室B1）
名古屋（特有）の言葉と事物500項目を辞書のような形式で収録。名古屋を知るのに便利な一冊。

■名古屋の品格／岩中 祥史著
請求番号：361.5K/2455（名古屋　閲覧室2F）
361.5L/2455/A（瀬戸　閲覧室1F　一般図書）
名古屋出身の著者が、従来にない独自の角度から「名古屋の品格」を論じたエッセー集。

■名古屋の本：摩訶不思議シティ／中澤 天童著
請求番号：215K/971（名古屋　閲覧室B1）
「名古屋文化」の深遠なる本質を説き明かす。

■尾張なごや傑物伝：宗春がいた、朝日文左衛門がいた／千田 龍彦著
請求番号：215K/1123（名古屋　閲覧室B1）
尾張名古屋といえば三英傑だが、他にも牛に乗った殿様・徳川宗春や、御畳奉行こと朝日文左衛門など、名古屋の魅力ある歴史上の人物を紹介。

■なごやの古代遺跡を歩く／服部 哲也[ほか]著
請求番号：215K/1094（名古屋　閲覧室B1）
推理と想像を楽しみながら名古屋の遺跡を歩き、古代人の暮らしに迫る。

■名古屋の喫茶店／大竹 敏之著
請求番号：BROW/2010（名古屋　閲覧室1F　ブラウジング）
喫茶チェーンのコメダ・支留比亜（シルビア）・コンパルから、モーニング、鉄板スパ、小倉トースト、コーヒーぜんざいまで。名古屋の喫茶文化をこの一冊に。

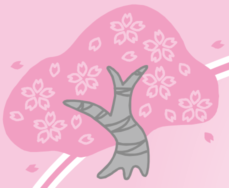
散歩を楽しむためのヒントは見つかったでしょうか？ぜひ南山大学図書館の資料を活用して、名古屋の街の歴史や文化を知り、魅力を再発見する散歩に出かけてみてください。みなさんのご利用をお待ちしています。

（TOKUNAGA, Shizuka：図書選定委員 徳永 静）

名古屋キャンパス　新入生のためのライブラリー案内

名古屋図書館では、新入生のためのライブラリー案内を下記の日程で行います。
図書館・視聴覚ライブラリーの資料の探し方や利用のコツなどをわかりやすく解説しますのでぜひご参加ください！

	名古屋図書館 場所：名古屋キャンパス　図書館3階	**視聴覚ライブラリー** 場所：名古屋キャンパス　L棟2階
所要時間	ガイダンス　約30分 ライブラリーツアー　約30分	約20分
4月1日（日）	ガイダンス＆ライブラリーツアー ①11:00～ ②14:00～	
4月2日（月）	ガイダンス＆ライブラリーツアー ①14:00～	13:00～ 14:00の間で随時実施
4月4日（水）	ガイダンス＆ライブラリーツアー ①11:30～ ②12:30～	13:00～ 14:00の間で随時実施



南山大学図書館　新入生歓迎企画展

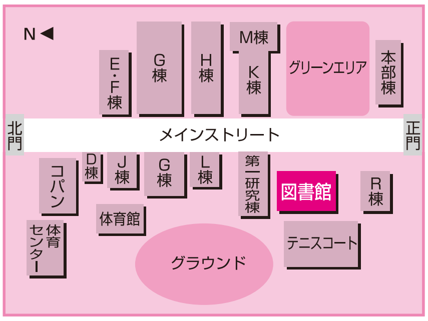
「ようこそ 南山大学図書館へ」

■瀬戸図書館［パネル展示］
2012年3月31日（土）～4月11日（水）

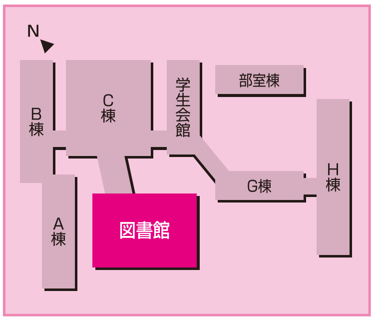
■名古屋図書館［パネル・資料展示］
2012年4月1日（日）・2日（月）・4日（水）

調べてみよう
名古屋のことを！

《編集後記》
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。図書館の利用方法などで迷うことがあったら、お気軽に図書館職員にお尋ねくださいネ！（石田久）



＜名古屋キャンパス＞



＜瀬戸キャンパス＞

南山大学図書館報　デュナミス　No.61
2012. 4. 1 発行
http://office.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/
発　　行：南山大学図書館　広報委員会
編集委員：石田（久）、石田（信）、南部
印　　刷：一誠社
〒466-8673　名古屋市昭和区山里町18
Phone:052（832）3707/Fax:052（833）6986
※図書館Webページでもご覧いただけます。